

官版

史
畧

皇國



第一卷
皇國史畧

2c

K110.23

6c

明治六年

史略

文部省

史略例言

此書幼童をして暗誦せしめむことを要す故

に簡易を旨として略す

一 宇麻志阿斯訶備比古逢神より阿夜訶志古泥

神に至りて略き多るを簡を旨とすれはあり

一 忍穗耳尊より鸕鷀草葺不合尊に至りての神

號を書紀此一書に略稱せるを據る

一天皇の御名ハ多べて常の御稱のをもとむ

て尊號御諱等を略く

一 飯豐天皇ハ記紀共に御歴代不載せしが今これ

不従ふ

一長慶天皇ハ新葉集不據テ姑ク略ク

編輯權助木村正辭

史略

神代

天^{アマノ}御^{ミコ}中^{ナカ}主^{ヌシ}神^{カミ}

此^{コノ}神^{カミ}天^{アマノ}地^{ツチ}不^{サキ}先^{サキ}だちて生^ナりあわして天^{アマノ}の正^{マサ}中^{ナカ}

に在^{イマシ}て萬^{マン}物^{モノ}を主^{ヌシ}宰^シ也

高^{タカ}皇^{ミコ}産^{ムスビ}靈^ヒ神^{カミ}

神^{カミ}皇^{ミコ}産^{ムスビ}靈^ヒ神^{カミ}

此^{コノ}二^ニ神^シハ天^{アマノ}御^{ミコ}中^{ナカ}主^{ヌシ}神^{カミ}の功^{イサメ}用^{ヨウ}をなせ神^{カミ}不^{サキ}て天^{アマノ}地^{ツチ}を始^シ萬^{マン}物^{モノ}萬^{マン}事^ジとくくあ^アの神^{カミ}靈^ヒ不^{サキ}資^{ヨリ}て成^{ナリ}出^{イッ}るあり

伊弉諾神

伊弉冉神

大八洲國も諸の嶋及び諸比神等を生又天

照大御神を生給ひき

天照大御神

日の神尔して高天原を治る御神徳廣大に

て萬物萬事又この神徳に依頼ざるも此あし

此大御神の御子孫皇國治めすなり

天忍穗耳尊

天照大御神の御子あり大神の勅を受けて皇孫

も天降して皇國

綏治をむ

彦火瓊瓊杵尊

天忍穗耳尊の御

子なり天照大御

神三種の神器も

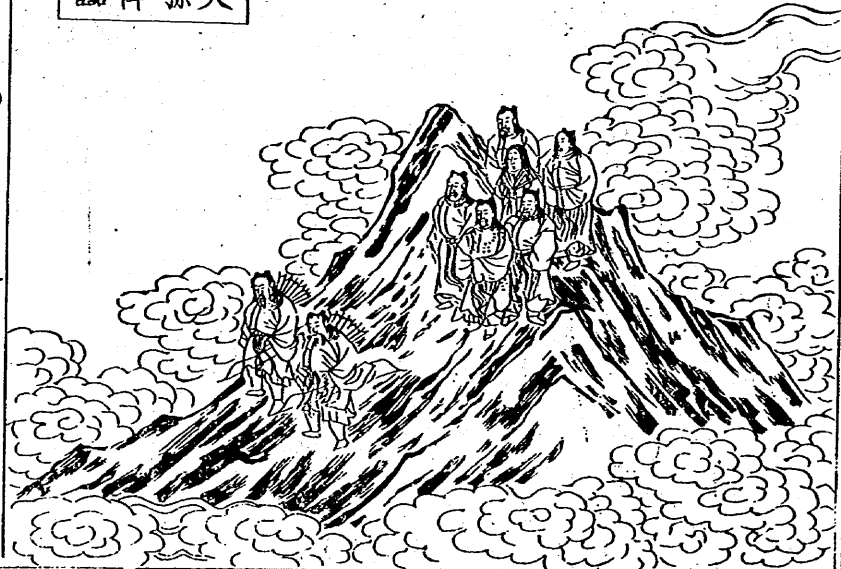
賜ひて勅給もく

豊葦原瑞穂國皇

名の古ハ吾子孫此

王たるべき地也

天孫降臨



とよりて日向高千穂峯に天降り給ひき
彦火火出見尊

瓊瓊杵尊の御子なり此尊海津見宮に往て三
年おとす

彦波瀲武鸕鷀草葺不合尊

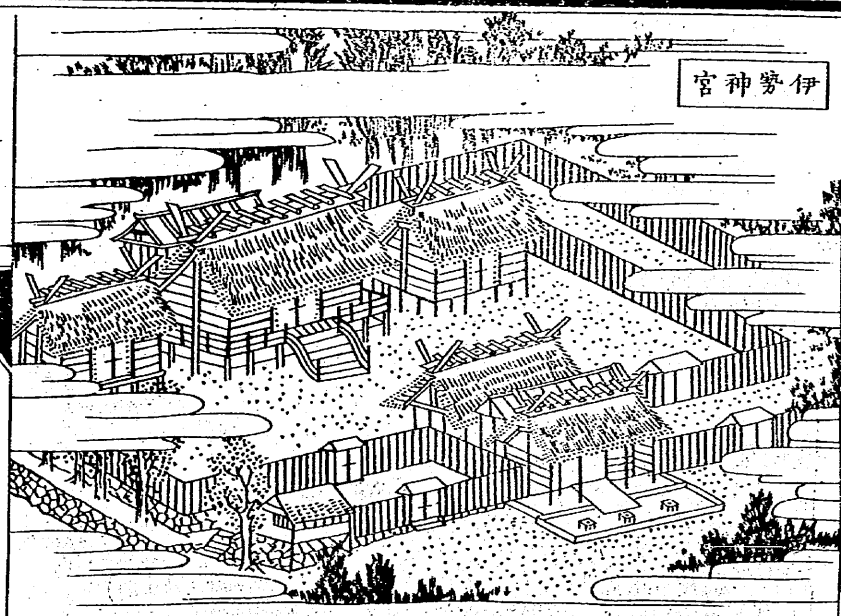
火火出見尊の御子なり

人皇

第一代神武天皇と申は鸕鷀草葺不合尊の御子
あり辛酉歳大倭檀原宮にして即位す初
天皇日向より東征して都を中洲に定めんとす

よて親ら皇族を帥て長髓彦及び諸の賊を誅伐
し遂に大倭に入宮殿を營造して帝位に即ちま
ふ○第二代綏靖天皇と申は神武天皇の御子也
○第三代安寧天皇と申は綏靖天皇の御子也○
第四代懿德天皇と申は安寧天皇の御子也○第
五代孝昭天皇と申は懿德天皇の御子也○第六
代孝安天皇と申は孝昭天皇の御子也○第七代
孝靈天皇と申は孝安天皇の御子也○第八代孝
元天皇と申は孝靈天皇の御子也○第九代開化
天皇と申は孝元天皇の御子也○第十代崇神天

皇と申は開化天皇の御子也天皇敬神此意厚く
 志て天照大御神を倭の笠縫邑に移し國々此社
 を定め又四道將軍戎置て戎夷を平らぐ○第十
 一代垂仁天皇と申は崇神天皇の御子也此御代
 天照大御神を倭姫命に託て伊勢國五十鈴川
 上に鎮奉る今の皇太神宮是あり○第十二代景
 行天皇と申は垂仁天皇の御子也皇子日本武尊
 をしと東夷征しむ此時尊伊勢の五十鈴宮に
 詣りて倭姫命に逢ふ倭姫命草薙劍を取て尊に
 授く尊東夷を撃平げ後遂に此劍茂尾張國に置



伊勢神宮

今ふ熱田宮に齋ま
 つれり○第十三代
 成務天皇と申は景
 行天皇の御子也武
 内宿禰を大臣や
 國郡縣邑を定む○
 第十四代仲哀天皇
 と申は日本武尊の
 御子也○第十五代
 神功皇后と申は仲

哀天皇の皇后あり仲哀天皇崩して御子のまゝ
 御降誕せむとて皇后攝政して天下を治る又
 三韓を伐て従へしむ○第十六代應神天皇と申
 仲哀天皇の御子御母ハ神功皇后也百濟國より
 王仁來りて論語を獻る○第十七代仁徳天皇と
 申は應神天皇の御子あり民は貧きを以て三年
 租税を免す○第十八代履中天皇と申は仁徳天
 皇の御子也此御代文筆不達したる者を諸國に
 分ち置て其國々此言事を記さしむ○第十九代
 反正天皇と申は履中天皇の同母弟也○第二十

代允恭天皇と申は反正天皇の同母弟也百官諸
 臣此姓氏を改め正す○第二十一代安閑天皇と
 申は允恭天皇の御子也○第二十二代雄略天皇
 と申は安閑天皇の同母弟也此御代に豐受太神
 を丹波國より伊勢比山田原に移す○第二十三
 代清寧天皇と申は雄略天皇の御子也○第二十
 四代顯宗天皇と申は市邊押磐皇子の御子也
 て履中天皇此御孫也○第二十五代仁賢天皇と
 申は顯宗天皇の皇兄也○第二十六代武烈天皇
 也申は仁賢天皇の御子也天皇法令きびしく忠

て國人皆怖る○第二十七代繼體天皇と申は彦
 主人王の御子應神天皇の玄孫也○第二十八代
 安閑天皇と申す繼體天皇の御子也○第二十九
 代宣化天皇と申す安閑天皇の同母弟也諸國亦
 屯倉を修し久凶年比備せし○第三十代欽明天
 皇と申は繼體天皇の御子也百濟國より佛像經
 論來獻す○第三十一代敏達天皇と申は欽明天
 皇の御子也蘇我馬子佛法を信し物部守屋
 争ふ○第三十二代用明天皇と申は欽明天皇の
 御子也○第三十三代崇峻天皇と申は欽明天皇

の御子也蘇我馬子
 謀反をありて東漢
 直駒越しく天皇を
 弑せし免尋て馬子
 其駒を殺し吾君は
 弑せし賊を誅すや
 いふ○第三十四代
 推古天皇と申は用
 明天皇の同母妹也
 厩戸皇子を太子と

遣隋使小野妹子



皇統

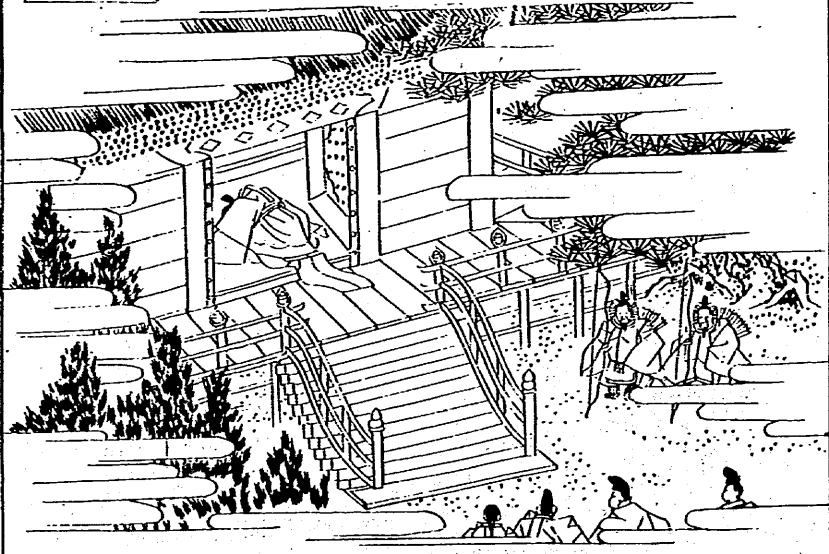
六

ちて攝政せしむ冠位十二階を定む小野妹子を
 隋國へ遣はせ○第三十五代舒明天皇と申は押
 坂彦人大兄皇子の御子也○第三十六代皇極天
 皇と申す舒明天皇の皇后茅渟王の御女也蘇我
 蝦夷其子入鹿逆威を振ふ中大兄命皇太子中臣
 鎌足等謀り父子弑す○第三十七代孝徳天
 皇と申す皇極天皇の同母弟也此御代始て年號
 を立て大化元年といふ神武天皇即位辛酉年よ
 り今年乙巳ふ至りて千三百五年にあたり畿内
 諸國に司を相多關所驛傳を定め其外さ

まさかの法を制し八省百官冠位等の事を定む
 ○第三十八代齊明天皇と申は皇極天皇重祚の
 御號あり重祚とを位讓て又再び位ふ即くな
 り○第三十九代天智天皇と申は舒明天皇の御
 子なり此御代に諸王諸臣の位二十六階を定む
 戸籍の法定む○第四十代弘文天皇と申す天
 智天皇の御子也天皇位ふ即け及び大海人皇
 子皇太子兵を擧げ天皇とを拒て利あらば遂に
 山前に崩すあはれ字壬申の亂といふ○第四十一
 代天武天皇と申は天智天皇の同母弟也八種の

姓タネを作り爵位ツツを改め朝服テラツクの色イロを定め國々の塚サカを分つワケ○第四十二代持統トヨ天皇と申す天武天皇の皇后ミコもて天智天皇の御女也○第四十三代文武天皇と申す草壁皇子クサカベノミコと申す天の御子也衣服の色を定め又律令リツレイとて公オホキミに托たくきて書シを撰せんと定む○第四十四代元明天皇ゲンメイと申す天智天皇の御女也○第四十五代元正天皇ゲンテイと申す文武天皇の同母姊也此御代ミコヨに古事記コトヰす日本書紀ニホノキヨを撰せんはしむ○第四十六代聖武天皇セイブと申す文武天皇の御子也陸奥國リクオより始はめて黄金オウゴンを奉る○第四

宇佐宮



十七代孝謙カクケン天皇と申す聖武天皇の御女也○第四十八代淳仁天皇ジュニンと申す舍ト人親王ネノミコ敬ウヤ皇帝ミカドと申すの御子也孝謙上皇天皇を廢して淡路國タニに遷ウツリし再び御位に即く○第四十九代稱徳天皇ショウトクと申

是孝謙天皇の重祚也天皇弓削道鏡と云法師を
 深く御寵有りて法王の位を授く道鏡猶あへの帝
 皇位ふつかむらんと望む是に於て和氣清麻呂
 を勅使とし宇佐大神の神託を請む其神語
 不我國関關以來君臣定る天日嗣と必は皇緒を
 立べしやありちて其事止む○第五十代先仁
 天皇と申す施基皇子後と申す天の御子也○第
 五十一代桓武天皇と申す先仁天皇の御子也都
 山城國小遷して平安城と名づけ歷代の皇居
 定め淡海三船仰せ神武天皇以來此帝王

の謚號を定む此御代不續日本紀成○第五十二
 代平城天皇と申す桓武天皇の御子也○第五十
 三代嵯峨天皇と申す平城天皇の同母弟也天皇
 學問を好み詩をよく筆道不絶り○第五十
 四代淳和天皇と申す嵯峨天皇の御弟也此御代
 不令義解を撰むしむ又上總常陸上野を以て親
 王の任國とす○第五十五代仁明天皇と申す嵯
 峨天皇の御子也此御代不日本後紀成○第五十
 六代文德天皇と申す仁明天皇の御子也○第五
 十七代清和天皇と申す文德天皇の御子也此御

代不續日本後紀成○第五十八代陽成天皇と申
 在清和天皇の御子也此御代不文徳天皇實録成
 ○第五十九代光孝天皇と申仁明天皇の御子
 也○第六十代宇多天皇と申光孝天皇の御子
 也天皇讓國のゆき此御誠ありさきを寛平御遺
 誠といふ○第六十一代醍醐天皇と申宇多天
 皇の御子也天皇久しく世を治めて美事多した
 ぶ時平の讒ありて道真を太宰府に左遷す天
 下ありを寛と茂○第六十二代朱雀天皇と申
 醍醐天皇の御子也此時平將門藤原純友等の亂

あり世不天慶の

亂とゆふ是あ

る○第六十三代

村上^{ムラカミ}天皇と申

朱雀天皇の同

弟也此時内裏炎

上す神鏡灰中

り出圓規損

事なり○第六十四代冷泉^{レイゼン}天皇

と申村上^{ムラカミ}天皇

の御子也○第六十五代圓融^{エンジュ}天皇

菅公



と申冷泉^{レイゼン}天皇と申村上^{ムラカミ}天皇
 の御子也○第六十五代圓融^{エンジュ}天皇と申冷泉^{レイゼン}天

皇の同母弟也○第六十六代花山天皇と申屯冷泉天皇の御子也○第六十七代一條天皇と申屯圓融天皇の御子也○第六十八代三條天皇と申屯冷泉天皇の御子也○第六十九代後一條天皇と申屯一條天皇の御子也○第七十代後朱雀天皇と申屯後一條天皇の同母弟也○第七十一代後冷泉天皇と申屯後朱雀天皇の御子也陸奥北土豪安倍賴時其子貞任亂をなす源賴義命じて討しむ○第七十二代後三條天皇と申す後朱雀天皇の御子也記録所を置訟を聽玉ふ○第七



義家追貞任

十三代白河天皇と申屯後三條天皇の御子也天皇位を遷りて後政を院中奉聽依て諸國院宜を重む○第七十四代堀河天皇と申屯白河天皇の御子也此時出羽國小坂武衡家衡亂を作す源

義家らと討つ○第七十五代鳥羽天皇と申せ
堀河天皇の御子也天皇容儀を修し衣冠の裁製
を美ふ也○第七十六代崇徳天皇と申す鳥羽天
皇の御子也上皇近衛天皇を立むと欲し天皇は
論して位を禅らしむ後又天皇を讃岐國に遷せ
○第七十七代近衛天皇と申す鳥羽天皇の御子
也○第七十八代後白河天皇と申す鳥羽天皇の
御子也近衛天皇崩せ崇徳上皇の長子重仁位に
即べしとあるに鳥羽法皇天皇を立是ゆ於て上
皇懼ばも法皇崩するに及んで上皇兵を擧天皇

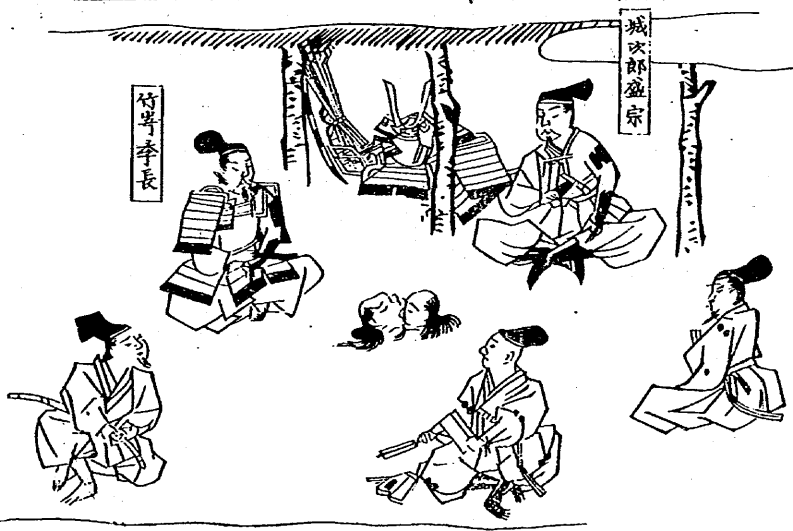
源義朝平清盛等をして代し上皇を讃岐に遷
せしめ茲保元の亂といふ○第七十九代二條天
皇と申す後白河天皇の御子也藤原信賴謀反は
平清盛その子重盛をしてこれを誅せ既しして
清盛權を專らし王室の推寢衰ふ○第八十代六
條天皇と申す二條天皇の御子也○第八十一代
高倉天皇と申す後白河天皇の御子也○第八十
二代安徳天皇と申す高倉天皇の御子也源賴朝
兵を起す諸國の源氏蜂起してこれを應ず源義
仲平氏と戦て勝時清盛薨せ宗盛一族を率ぬ

主上を守護して筑紫へ走る京師ふ於て尊成親
 王位に即後鳥羽天皇是あり○第八十三代後鳥
 羽天皇と申せ高倉天皇の御子也源義仲惡逆頼
 朝とれを伐く誅し又平氏を伐て滅ぼす此時二
 位、尼安徳天皇を抱き海底に沈むといふ是に於
 て頼朝を諸國総追捕使に任せられり天下に
 權悉く鎌倉に歸せ朝廷益衰ふ○第八十四代土
 御門天皇と申せ後鳥羽天皇の御子也此時頼朝
 の子頼家將軍となり執政北條時政權を恣に頼
 家を伊豆に放ち實朝を立○第八十五代順徳天

皇と申せ後鳥羽天皇の御子也源公曉將軍實朝
 を暗殺せ依て藤原頼經を大將軍となし北條義
 時執權たり○第八十六代仲恭天皇と申せ順徳
 天皇の御子也義時暴虐天皇を廢し三上皇を遷
 せ○第八十七代後堀河天皇と申せ高倉天皇
 の御孫也○第八十八代四條天皇と申せ後堀河
 天皇の御子也○第八十九代後嵯峨天皇と申せ
 土御門天皇の御子也頼經の子頼嗣を大將軍に
 任せ○第九十代後深草天皇と申せ後嵯峨天皇
 の御子也北條時頼執權となり頼嗣を廢せ宗尊

親王を大將軍に任
 ず○第九十一代龜
 山天皇と申す後深
 草天皇の同母弟也
 宗尊親王を廢し其
 子惟康王を大將軍
 に任す北條時宗執
 権たり此時元使來
 るときを逐還す○
 第九十二代後宇多

元寇



天皇と申す龜山天皇の御子也元の兵來り寇す
 代て却く元又大舉入寇我兵とせと奮戦す時
 に大風起り虜艦を覆へす元兵生て還る者三人
 ありを弘安の役といふ○第九十三代伏見天皇
 と申す後深草天皇の御子也北條貞時執権たり
 惟康親王を廢し久明親王を大將軍に任す○第
 九十四代後伏見天皇と申す伏見天皇の御子也
 ○第九十五代後二條天皇と申す後宇多天皇の
 御子也久明親王を廢し其子守邦王を大將軍に
 任す○第九十六代花園天皇と申す伏見天皇の

御子也貞時卒す北條高時執権より○第九十七代後醍醐天皇と申す後宇多天皇の御子也天皇北條氏の権を專するに怒り是を誅滅せんや此事泄して高時京師を襲ふ天皇笠置に幸し楠正成を召し興復の事を委ぬ高時皇太子量仁を奉じて帝と為す此を光厳天皇と稱す後伏見天皇の御子也後つひに南北兩朝とわらる足利尊氏新田義貞等起て北條高時を誅す車駕宮に還る尊氏功に誇る義貞を以て追討せむ戦ひ利ありき正成又湊川に於て戦死す是に於て天

楠正成



皇吉野に幸す尊氏豊仁親王を奉じて帝と為す此を光明天皇と稱す光厳天皇の同母弟也○第九十八代後村上天皇と申す後醍醐天皇の御子也吉野賀名生宮に於て位に即新田義貞楠正行

戦死也北方位を興仁親王ホトキミ不傳フツふ崇光ホムミツ天皇と稱
 也光嚴天皇の御子也源顯能ノリノリ楠正儀ノリノリ等京を攻て
 光嚴光明崇光の三主を得て歸る義詮ヨシノリ彌仁親王ヨシノリ
 を奉じて帝とあす後光嚴天皇と稱也崇光天皇
 の同母弟也○第九十九代後龜山天皇と申也後
 村上天皇の御子也北方にて足利義滿ヨシツネを大將軍
 に任ぜ後光嚴天皇位を御長子緒仁親王ヨシノリ不讓フナガる
 後圓融天皇と稱也既にして又位哉御子幹仁親王ノリノリ
 不讓る後小松天皇これなり○第百代後小松天
 皇と申也南北講和成て後龜山天皇京師に還り

神器を天皇不傳ふ義滿將軍を辭也其子義持ヨシモチを
 以て大將軍に任むこまじり以下代々足利氏茲
 以て大將軍に任む○第百一代稱光天皇と申也
 後小松天皇の御子也○第百二代後花園天皇と
 申也崇光天皇の曾孫也赤松滿祐將軍義教ヨシノリを弒
 也山名持豊モチトヨ伐てあまを誅也○第百三代後土御
 門天皇と申也後花園天皇の御子也○第百四代
 後柏原天皇と申也後土御門天皇の御子也○第
 百五代後奈良天皇と申也後柏原天皇の御子也
 ○第百六代正親町天皇と申也後奈良天皇の御

子也。天皇位ミケノミに即ツキじ及ツて毛利モリ元就ノブ資シを獻シテして禮儀レイギを調ツふ三好義繼ミチノリ將軍シマシラ義輝ノブを弒シテ織田オリダ信長ノブナガ義輝ノブの弟ニ義昭ノブヒコを立て將軍シマシラとす後義昭ノブヒコ信長ノブナガを伐ツむ事を謀ツる依ツて信長ノブナガ義昭ノブヒコを河州カウに幽シむ是レに於テ足利氏アタリノミ亡シぶ明智トモチカ光秀ノブヒコ信長ノブナガを弒シテす羽柴ハシ秀吉ノブキヨ光秀ノブヒコを誅スし其他タ或ハ伐ツ或ハ盟約メイヨクして天下テンカ始メて一統イツトウを詔シテ志スて秀吉ノブキヨを關白セキハクとなシ姓セイを豊臣トヨトミと賜タマフふ○
 第一百七代ナナヒトサツノミ後陽成ゴウヤウセイ天皇テウと申マシて陽光ヨウカ院イン贈タマフ太上天皇タウテンテウ
 職シヨク三仁サンニの御子ミコ正親マサノチカ町チヨウ天皇テウの孫マコ也ナリ秀吉ノブキヨを太政大臣タウサウヂ
 不任フニト秀次ヒデアツを關白セキハクとす秀吉ノブキヨ朝鮮チヨウセンを伐ツ且ツ大子オホコ明メイ

兵ヘイを破ツる明主メイシュ和ニを講ツむ和破ワハを再マタび朝鮮チヨウセンを攻ツむ會ヘ秀吉ノブキヨ疾ヤキふのりて薨シむ是レに於テ兵ヘイを解ツ諸將シヨウを召マシ還マシす徳川トクヰ家ケ康前カウゼン田利家タリケ等ト秀吉ノブキヨの遺命イノチノミツを奉タテマシじて秀ヒコ賴ノブを輔佐ホシタシ屯ツ後盟約ゴメイヨク破ツる家康カウ石田イシダ三成サウサウ

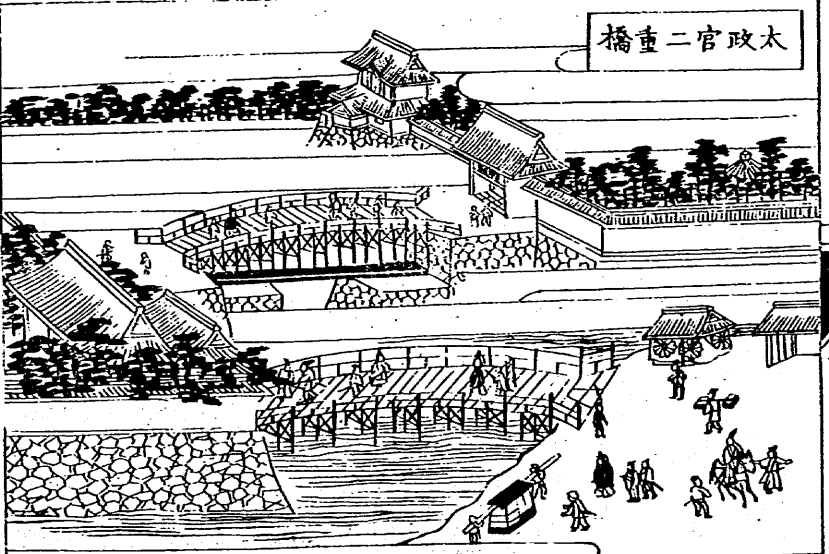
朝鮮征伐



等と關ヶ原セキハラに戦て大子勝カチ天下悉く家康イサダカに歸て
 家康を大將軍に任て既スにして家康職を辭す其
 子秀忠ヒデタカを大將軍とすこれより徳川氏子々相繼
 て大將軍に任て江戸に城を築き府を開く○第
 百八代後水尾天皇と申て後陽成天皇の御子也
 家康大阪を攻てこれ城破る秀頼自殺し豊臣氏
 亡ぶ○第百九代明正メイセイ天皇と申て後水尾天皇の
 御女也○第百十代後光明コウメイ天皇と申て後水尾天
 皇の御子也○第百十一代後西院サイイン天皇と申て後
 水尾天皇の御子也○第百十二代靈元レイゲン天皇と申

て後水尾天皇の御子也徳川光圀コウカン彰考館カウカウカンを開き
 大日本史を撰て○第百十三代東山トウサン天皇と申て
 靈元天皇の御子也○第百十四代中御門ナカミカド天皇と
 申て東山天皇の御子也水戸に於て大日本史成
 て奏進て○第百十五代櫻町オウチノミヤ天皇と申て中御門
 天皇の御子也○第百十六代桃園ウヅミヅノミヤ天皇と申て櫻
 町天皇の御子也○第百十七代後櫻町オウチノミヤ天皇と申
 て櫻町天皇の御子也○第百十八代後桃園ウヅミヅノミヤ天皇
 と申て桃園天皇の御子也○第百十九代光格コウカク天
 皇と申て自在王院ジザイノミヤ宮親サカベの御子東山天皇の曾

大政官二重橋



孫也○第百二十代
 仁孝天皇と申光
 格天皇の御子也追
 諡此典を廢せる事
 九九百年天皇これ
 を復し給ふ○第百
 二十一代孝明天皇
 と申仁孝天皇の
 御子也五箇國の條
 約成て武藏國横濱

に港を開き貿易を専らし將軍徳川慶喜大阪に
 在て大政を行ふ列藩の有志復古此事を論ず天
 皇國事小憂苦一社稷宗廟の爲に規畫せざるや
 甚深遠あり大業未成びて崩た天下あせを
 哀しむ○第百二十二代今上天皇孝明天皇の御
 子也徳川慶喜大政を歸納し天皇萬機を親裁し
 給ふ鑛倉以來九七百年來の舊弊一洗して大政
 復古江戸を以て東京と改號皇居と屯神武天皇
 元年辛酉より今年辛未に至りて二千五百三十
 一年也

史略

史略